


2021年度
中間決算の概況と
通期の業績予想

2021年10月29日



目次

2021年度中間決算のポイント	2
連結損益計算書	3
連結売上高と利益推移	4
連結貸借対照表	5
連結キャッシュフロー	6
連結セグメント別業績(中間期)	7
連結業績予想	8

2021年度中間決算のポイント

- 国内外で新型コロナウイルスの影響は依然として続いているものの、米国を中心に景気持ち直し・回復の動きが見られます。当社グループの業績は、全般的に取扱量が増加したことに加え、価格も上昇したことにより、前年同期比大幅増益となりました。

・売上高	2,242億円（一）	
・経常利益	46億円（前年同期比	+29億円、181.9%増）
・当期純利益	39億円（	” +34億円、689.5%増）

- 自己資本比率は18.1%（前年度末実績 19.5%）

➤ 配当

中間 85円/株、年間 170円/株予定
（前年度実績 中間 15円/株、年間50円/株）

※ 21年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高については対前年同期増減率は記載しておりません。

連結損益計算書

(単位: 億円)

	20年上期	21年上期	増減額	増減率
売上高 (7/30 公表値)	3,471	2,242 (2,380)	-	-
売上総利益	120	158	① 38	
販売管理費	△106	△117	② △11	
営業利益 (7/30 公表値)	14	41 (39)	27	195.9 %
営業外損益	2	5	3	
経常利益 (7/30 公表値)	16	46 (41)	29	181.9 %
特別損益	△5	2	③ 7	
法人税等	△6	△6	0	
当期純利益 (7/30 公表値)	5	39 (29)	34	689.5 %
1株当たり当期純利益	55.19 円	435.74 円		

①売上総利益

単体	+ 12
・鉄鋼	+ 5
・鉄鋼原料	+ 4
・非鉄金属	+ 5
・機械・情報	△ 1
・溶材	△ 1
海外子会社	+ 21
国内子会社	+ 3
連結調整	+ 2
計	+ 38

②販売管理費

人件費増△ 4、運賃増△ 2、
減価償却費増△ 1 他

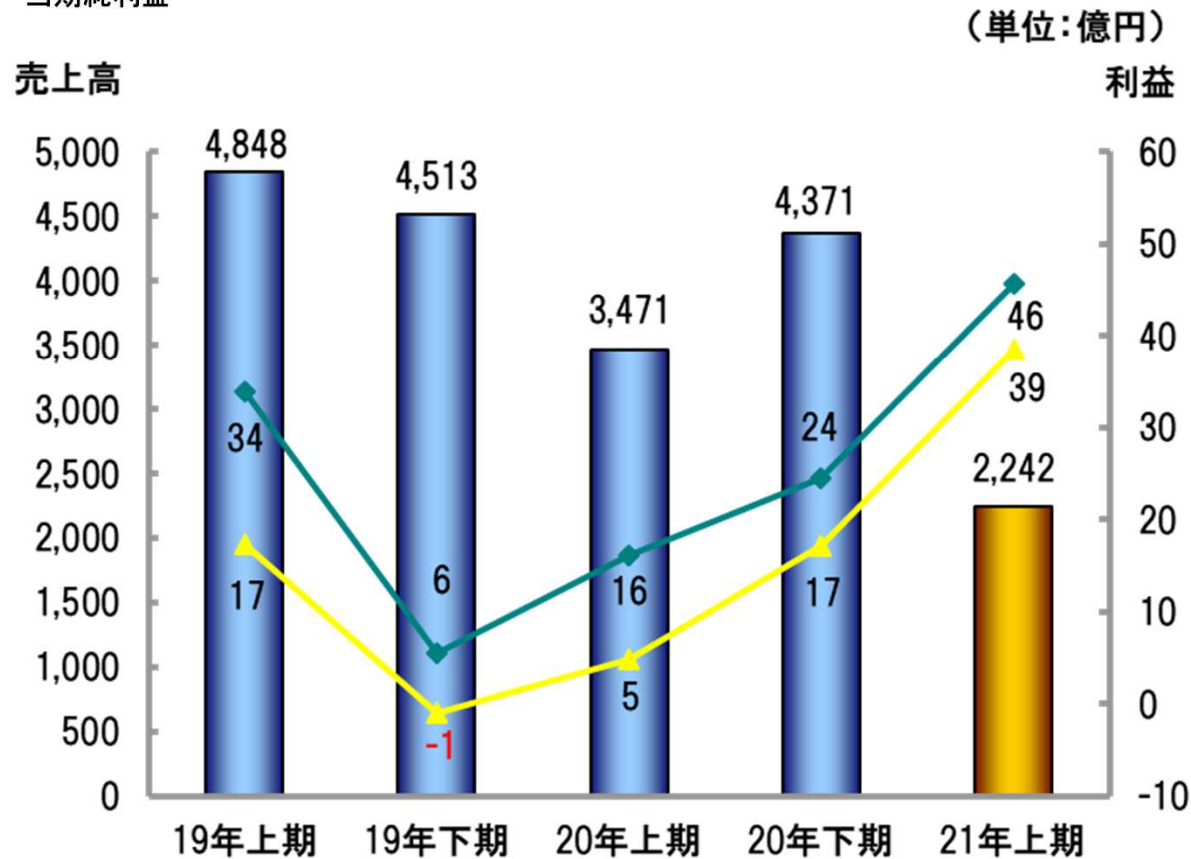
③特別損益

20年上期 投資有価証券評価損△ 5 他
21年上期 負ののれん発生益+ 2 他

※ 21年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の21年上期連結売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高については対前年同期増減率は記載していません。

連結売上高と利益推移

- 売上高
- 売上高(21年度上期)
- ◆ 経常利益
- ▲ 当期純利益

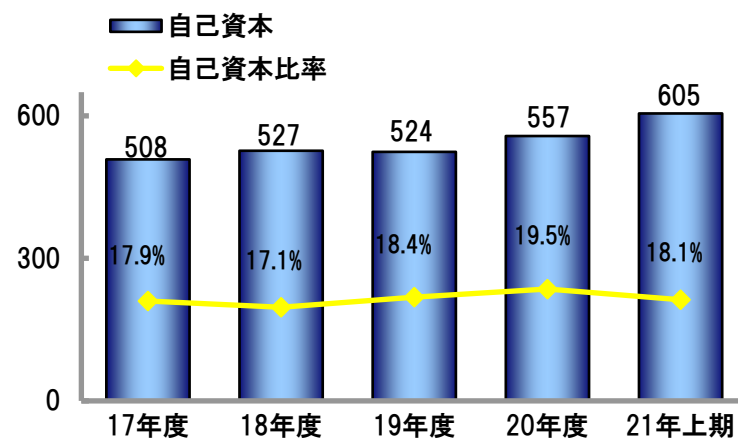


※ 21年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の21年上期連結売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

連結貸借対照表

(単位: 億円)

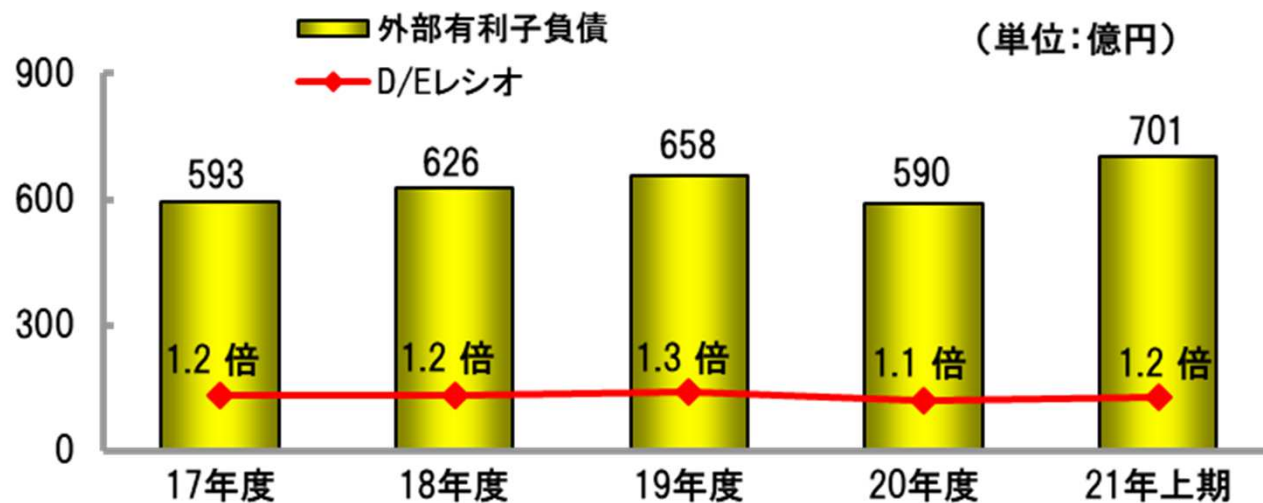
	20年度	21年上期	増減額	増減の概要
流動資産	2,401	2,867	465	売上債権 +186、商品及び製品+101、前払金+164 他 建物及び構築物 +5 他 投資有価証券 +5、長期貸付金+1 他
固定資産	461	478	17	
（有形・無形固定資産	88	93	5	
投資その他の資産	373	385	12	
資産合計	2,862	3,345	482	
流動負債	2,023	2,479	456	仕入債務+123、短期借入金+133、預り金+146 他 長期借入金 △22 他
固定負債	268	243	△25	
負債合計	2,290	2,722	431	
自己資本	557	605	48	利益剰余金 +35、評価・換算差額等 +12 他
非支配株主持分	14	18	3	
純資産	572	623	51	
外部有利子負債	590	701	112	
自己資本比率	19.5%	18.1%	△1.4%	
D/Eレシオ	1.1倍	1.2倍	0.1倍	
1株当たり純資産	5,920.3円	6,832.9円		



連結キャッシュフロー

(単位: 億円)

	20年上期	21年上期	増減額
営業活動によるCF	+35	△102	△137
投資活動によるCF	△7	+1	+8
フリーキャッシュフロー	+28	△101	△129
財務活動によるCF	+12	+93	+82
総合キャッシュフロー	+40	△8	△48



連結セグメント別業績(中間期)

(単位:億円)

		20年上期	21年上期	増減額	増減率	売上高・利益の状況
鉄鋼	売上高	1,176	901	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ●鋼板:(国内)取扱量増加、価格上昇。(輸出)取扱量減少、価格上昇。 ●線材:(国内)(輸出)取扱量増加、価格上昇。
	セグメント利益	4	25	20	474.9%	
鉄鋼原料	売上高	984	198	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ●神戸製鋼所向け輸入鉄鋼原料:取扱量増加、価格上昇。 ●冷鉄源:取扱量減少、価格上昇。
	セグメント利益	1	0	△1	△92.9%	
非鉄金属	売上高	799	811	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ●銅・アルミ製品:端子コネクタ向け板条、空調向け銅管の取扱量増加。自動車向け押出材・板条・加工品、空調フィン向けアルミ板の取扱量増加。 ●非鉄原料:銅屑・アルミ屑の取扱量増加。
	セグメント利益	5	17	12	247.5%	
機械・情報	売上高	333	223	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ●機械製品:電池材料や建設機械部品の取扱い増加。圧延設備や大型圧縮機、真空成膜装置の取扱い減少。 ●情報産業関連:PC向け部品の取扱い増加。半導体関連装置の取扱い減少。
	セグメント利益	6	3	△3	△47.4%	
溶材	売上高	178	107	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ●溶接材料:自動車や建設機械向けの取扱量増加。化工機や造船向け、輸出関連の取扱量減少。 ●溶接関連機器:鉄骨溶接ロボットの取扱い減少。 ●生産材料:溶剤原料・鋼材の取扱量減少。
	セグメント利益	0	1	1	245.3%	
調整等	売上高	1	1	-	-	
	セグメント利益	△0	△0	0	-	
連結	売上高	3,471	2,242	-	-	
	経常利益	16	46	29	181.9%	

※ 21年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の21年上期連結売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高については対前年同期増減率は記載していません。

連結業績予想

(単位:億円)	20年度	21年度予想	増減額	増減率
売上高	7,842	4,590	—	—
営業利益	45	86	41	93.1 %
経常利益	41	82	41	101.6 %
当期純利益	22	64	42	191.2 %
1株当たり当期純利益	248.24 円	722.77 円		
1株当たり配当金	中間15円、期末35円	中間85円、期末85円		
配当性向	20.1 %	23.5 %		

※ 21年度予想は10/29公表値

◆セグメント別

(単位:億円)	20年度		21年度予想		増減額	
	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)
鉄鋼	2,642	6	1,810	36	—	30
鉄鋼原料	2,335	3	450	4	—	1
非鉄金属	1,856	19	1,600	28	—	9
機械・情報	648	12	530	11	—	△ 1
溶材	358	1	200	3	—	2
連結	7,842	41	4,590	82	—	41

※ 21年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記21年度予想の連結売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高については対前年同期増減率は記載しておりません。



Designs for Business

神鋼商事は、メーカー商社という独自の視点から
あなたのビジネスに価値を付加するためのデザインを行います。

(注)2021年度の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。